

平成29年度相模原商工会議所経営発達支援計画の評価（委員会を経ての決定版）および平成30年度の取り組み方針

平成29年度経営発達支援事業の報告および評価について

- ・事務局より資料に基づき事業報告及び評価（案）について説明し、質疑の後、評価（案）を審議し、各項目の評価を決定した。

評価基準：

- A：十分達成している（100%以上）
- B：概ね達成している（80%～100%未満）
- C：どちらかというとは達成できていない（30%～80%未満）
- D：全く達成できていない（30%未満）
- E：未実施

地域の経済動向調査

<評価案>

【目標・実績】 主要な調査の実施回数と対象

景気動向調査（郵送）	四半期ごと年4回実施／対象500社
景気動向調査（ヒアリング）	年3回実施／対象100社
LOB調査 （日本商工会議所早期景気観測）調査	毎月1回実施／対象5社
業種団体・内部団体等意見交換	年各1回／対象50社
採用動向、雇用環境調査	年3回実施／対象100社

事務局評価案：事業は予定通り行ったが、情報提供について、ホームページに掲載した情報の閲覧数を計測した結果、ほとんどアクセスされておらず、提供面で想定どおりとはいえなかったことから、B評価としたい。

<評価>

事務局案どおりBにて決定。

<ご意見等および平成30年度取り組み方針>

- ・ホームページの閲覧数が低い要因は何か
→トピックスにて訪問者の目に付くように表示しているにも関わらずアクセスが少ないという結果であり、資料に記載の財務省資料にあるとおり、事業者が具体的に活用できる情報ではないように思われます。どちらかといえば支援者側が活用する情報であり、今後は収集と分析の精度をさらに高めていく方向で進めてまいります。

経営状況の分析

<評価案>

【目標・実績】 経営分析を把握するための方策及び経営分析件数

支援内容	28実績	29計画	29成果	達成率
経営分析に関する巡回・窓口件数	406	360	304	84.4%
経営分析に関するセミナー等の開催回数	3	3	3	100%
経営分析セミナー・個別相談の参加者数	143	260	98	37.7%
経営分析事業者数	243	180	148	82.2%

事務局評価案: 経営分析セミナー・個別相談の参加者数の達成率が低く、また、小規模事業者持続化補助金の支援者数が想定より少なかったため、C評価としたい。

<評価>

委員にて協議の結果、Bにて決定。

<ご意見等および平成30年度取り組み方針>

- ・評価として、セミナー・相談の参加者数が計画に対して少ないということで評価案をCにしたと思うが、実施の事業所数が計画通りなので80%を超えているのでB評価になりうるのではないか。
→ありがとうございます。ネックとなったセミナー等の参加者も増やすよう努力してまいります。
- ・「経営分析」を目的に相談する事業者はいたのか。
→自社の経営の現状を知りたいという相談はございませんでした。当所としてもマルケイ、小規模事業者持続化補助金等に付随した分析を必要に応じて行っております。
- ・分析の方向性について、近年は金融庁、中小企業庁を中心に「事業性評価」を取り入れる取り組みが行われている。経営分析をすることに意味があるのではなく、定性的な事業評価もしていきながら、経営改善や事業承継に活かしていく方向をもっていけたらよいと思う。
→ご意見をいただいた内容の視点をもって、マルケイ、小規模事業者持続化補助金等の特にアウトプットがでる事業に反映させてまいります。

事業計画策定支援

<評価案>

【目標・実績】 事業計画策定支援事業

支援内容	28実績	29計画	29成果	達成率
事業計画作成支援に関するセミナー・個別相談会参加者数	166	170	105	61.8%
事業計画作成支援に関するセミナー・個別相談回数	4回 6回	2回 5回	7回 3回	350% 60%
事業計画策定事業者数	157	100	82	82.0%

【目標・実績】 創業支援

支援内容	28実績	29計画	29成果	達成率
創業ゼミ（平成28年度は創業スクール）参加人数	12	12	23	191.7%
さがみはら女性起業家のたまご応援セミナー（日数）	7	7	4	57.1%
さがみはら女性起業家のたまご応援セミナー（のべ参加人数）	96	85	104	122.4%
上記2つのセミナーを通じての起業者数合計（目標）	6	7	4	57.1%
新規創業者事業計画策定者数	8	20	8	40.0%

※事業廃止となったチャレンジショップに関する項目は掲載していない。

【目標・実績】 経営革新・事業承継支援

支援内容	28実績	29計画	29成果	達成率
経営革新セミナー回数	0	1	2	200%
経営革新セミナー（受講者数）	0	30	71	237%
経営革新支援件数（延べ）	27	70	19	27.1%
経営革新承認件数（件数） ※うち経営力向上計画1件	8	6	5	83.3%
事業承継セミナー回数	1	1	1	100%
事業承継セミナー（受講者数）	10	23	7	30.4%
事業承継相談（紹介件数）	2	3	0	0%

【目標・実績】 小規模事業者持続的発展を支援する取組

支援内容	28実績	29計画	29成果	達成率
小規模事業者持続的発展を支援するセミナー（回数）	5	8	5	62.5%
持続化補助金申請支援数（社）	109	100	18	18.0%
持続化補助金採択数	49	56	4	7.1%

事務局評価案：創業セミナー、経営革新セミナーの受講者数等計画を上回る項目があったが、平成29年度は小規模事業者持続化補助金が追加公募のみであったため、支援件数、採択数が少なかったもので総合的にC評価としたい。

<評価>

事務局案どおりCにて決定。

<ご意見等および平成30年度取り組み方針>

- ・事業承継の支援数が少ないが、要因としてどのようなことが考えられるか。
- 現状、当所のスタンスとしては相談があった案件に対応するというものであり、セミナー開催以外ではアクションを起こしていなかったこと、また、小規模事業者の認識として事業承継の優先度が低いことが想定されるのではないかと考えられます。平成30年度は事業者への意識付けおよび利用できる施策の周知に取り組んでまいります。

- ・事業承継は、引き継ぐ側がいないと成り立たないので、単に後継者や従業員というだけでなく、創業者希望者とのマッチングも含めて推進していかないとまくいかないと思われる。また、行政の制度だけでなく、民間の制度も含めて案内すべきである。さらに、セミナーを行政や他の支援機関、金融機関と連携して行うことで、件数が増えてくると思われる。

→事業承継につきましては、本年度は啓発に主眼をおいて取り組んでまいります。他機関との連携につきましては、どの機関と連携するかを含め検討してまいります。

- ・相模原市の規模感からいくと、経営革新計画の承認数が少ないと思われるが要因は何か。

→制度的に小規模事業者にとって時間と手間がかかるという面と承認を受けるメリットの面から経営革新まで手が回らないのではないかと考えられます。

- ・補助金の申請について、ものづくり補助金に代表されるように、なんらかの承認等による加点を積み上げていく方式になっていく傾向にある。経営革新計画は、各補助金の加点対象であると思われるので、補助金申請を考えている事業者は積極的に承認を受けに行くように周知した方がよい。

→補助金の案内と関連して周知してまいります。

事業計画策定後の実施支援

<評価案>

【目標・実績】 小規模事業者への事業計画策定後の実施支援フォローアップ件数

支援内容	28実績	29計画	29成果	達成率
フォローアップ事業者数（新規分）	80	80	69	86.3%
フォローアップ事業者数（継続分）	—	80	9	11.3%
フォローアップ件数（延べ回数）	170	640	143	22.3%

【目標・実績】 創業者への事業計画策定後の実施支援フォローアップ件数

支援内容	28実績	29計画	29成果	達成率
フォローアップ事業者数（新規分）	10	20	12	60.0%
フォローアップ事業者数（継続分）	—	10	7	70.0%
フォローアップ件数（延べ回数）	40	120	25	20.8%

【目標・実績】 小規模事業者経営発達支援融資制度の利用件数

支援内容	28実績	29計画	29成果	達成率
小規模事業者経営発達支援融資資金利用者数（社）	1	5	0	0%

事務局評価案：計画を達成した項目がなく、小規模事業者持続化補助金関連の数字、フォローアップの件数が計画に対して少なかったため、C評価としたい。

<評価>

事務局案どおりCにて決定。

<ご意見等および平成30年度取り組み方針>

- ・小規模事業者経営発達支援融資資金については、平成28年度に創設され、公庫として積極的に推進していたが、平成29年度は平成28年度ほど積極的ではなかったことがあり、そのあたりも利用者減につながったものと思われる。小規模事業者にとってはマルケイ融資にて2000万円までという枠で金利も低く使いやすいことから、たいていの資金需要に対応できている現状がある。利用の想定としてはマルケイの枠を超える額の設備投資となっており、案件があれば継続して対応していきたい。
- 当所としても継続してマルケイと併せて周知してまいります。

- ・経営支援においてフォローアップは重要な位置を占めていると思うが、計画自体がハードルが高くて未達なのはやむをえないにしても、前年比でも減少しているが理由は何か
- 平成28年度に比べると経営支援課の人員が大幅に入れ替わったので、それまで支援していた事業者の情報が引き継がれずに継続支援が立ち消えになってしまいました。本年度は平成29年度と同様の体制となりますので、継続的なフォローアップに取り組んでまいります。

- ・商工会議所は補助金の中でも小規模事業者持続化補助金以外の支援が手薄になっているように思われる。特に最も数が多いものづくり補助金の支援を行っていないことがフォローアップの件数減につながっているのではないか。IT補助金なども商工会議所が業者と連携するなどして関与していけばフォローアップの対象となりうるので、検討してはどうか。
- 募集時期が重なる関係もあり、ものづくり補助金は相模原市産業振興財団が、小規模事業者持続化補助金は当所が担当する、という棲み分けがなされており、また、IT補助金はベンダーが主体的に支援を行う部分があり、支援機関は概要説明と紹介にとどまっている現状があります。フォローアップを行うには、当所が主体的に支援する必要があり、今後どのように関わっていくかについて、検討してまいります。

需要動向調査

<評価案>

【目標・実績】

支援内容	28実績	29計画	29成果	達成率
※右の数値は、情報収集件数 情報収集方法- インターネット・日経テレコ ン、展示会、官公庁発行資料、 バイヤーへのヒアリング等	120	120	30	25.0%
需要動向調査データ提供件数 提供する企業数	147	140	69	49.2%

事務局評価案：平成29年度は小規模事業者持続化補助金が追加公募のみだった影響があり、各情報収集数は計画に対して約25%、情報提供企業数は計画に対して約49%となったため、総合的にC評価としたい。

<評価>

事務局案どおりCにて決定。

<ご意見等および平成30年度取り組み方針>

・小規模事業者持続化補助金の数字に影響される項目が平成28年度実績に比して平成29年度が大幅が下がっているのは理解できるが、その旨を評価の根拠として示した方がよい。

→評価はホームページにて公開することとなっておりますので、公開版に反映いたします。

新たな需要開拓

<評価案>

【目標・実績】 事業名称：フードビジネスマッチング事業

支援内容	28実績	29計画	29成果	達成率	参考 30計画
バイヤー参加数	11	12	12	100%	12
サプライヤー参加数	38	40	51	128%	53
商談数	60	70	89	127%	90
成約数	5	7	9	129%	10
成約率	8.3%	10.0%	10.1%	101%	11.1%

【目標・実績】 事業名称：相模原お店大賞事業

支援内容	28実績	29計画	29成果	達成率
投票数	5,409	6,200	6,234	101%
PR効果により売上げが向上した受賞店	71.4%	65.0%	75.0%	115%
受賞店のフォローアップ	5件	10件	4件	40.0%

【目標・実績】 事業名称：受発注商談会の開催

	28実績	29計画	29成果	達成率
参加企業総数	201社	233社	123社	52.8%
発注企業	41社	45社	34社	75.6%
(相模原市内)	6社	8社	7社	87.5%
受注企業	160社	188社	89社	47.3%
(相模原市内)	26社	33社	15社	45.5%
商談件数	380件	385件	238社	62.1%

【目標・実績】 事業名称：首都圏6商工会議所主催のビジネス商談会・交流会の開催

支援内容	28実績	29計画	29成果	達成率
首都圏6商工会議所主催のビジネス商談会・交流会	20	30	13	43.3%

【目標・実績】 事業名称：ビジネスマッチングをさらに進めるための広域事業者照会システム事業

支援内容	28実績	29計画	29成果	達成率
ものづくりネット（製造業取引支援サイト）	462	480	464	96.7%
ザ・ビジネスモール（商取引支援サイト）	2,822	2,840	2,833	99.8%

【目標・実績】 海外展開支援による販路拡大

支援内容	28実績	29計画	29成果	達成率
セミナー開催回数	1	3	2	66.7%
セミナー等参加人数	51	80	36	45.0%
海外展開支援相談件数	20	24	17	70.8%
展示会出展事業者数	10	12	15	125%

事務局評価案：フードビジネスマッチング商談会、相模原お店大賞では100%超の成果となる項目があったが、受発注商談会、ビジネスマッチング商談会、海外展開事業が計画未達となったため、総合的にB評価としたい。

<評価>

事務局案どおりBにて決定。

<ご意見等および平成30年度取り組み方針>

- ・フードビジネスマッチング商談会について、サプライヤーからは好評とのことだが、バイヤーにはどのような印象をもたれているのか。
→アンケートによればバイヤーの満足度は75%となっております。なお、バイヤーは新陳代謝の意味もあって入換を行っており、また、どのような商材を求めているのかについて率直な要望を聞いてそれを連携先となる金融機関に伝え、サプライヤー募集に反映させていることから、バイヤーの要望にも応えうる商談会をめざしております。

- ・全体として工業系は相模原市産業振興財団が、その他は商工会議所が支援している印象があるが、その中で受発注商談会等の工業系の事業を行っている理由は何か。
→工業部会主体となる事業や行政等との連携事業における工業系の枠組みにある事業については商工会議所が主体的に関わっております。

- ・受発注商談会の参加企業が減少している要因は何か。
→運営担当者は、県内での他会場と参加企業が同じになる傾向がみられたので参加企業が少なくなったのではないかと分析しております。なお、平成30年度は完全相思相愛型ではなく、自由商談の枠を設けることで、参加企業を増やすことを検討しております。

- ・相模原市のスケール感を考えると、各事業でもっと件数や参加人数が多くなるイメージがあるが、結果を見ると少ないように思える。これは部会関係者等毎回参加する顔ぶれが同じだからではないか。もっと一般会員等に対する説明やアプローチの仕方を工夫して、参加者を新たに取込んで活性化した方がよい。
→ご指摘のとおりでございますので、裾野を広げるように取り組んでまいります。

- ・海外展開は小規模事業者でも売上向上につながるものだが、うまくいかない原因は言語の問題であるので、何らかのフォローアップができるようにした方がいい。たとえばセミナー等に対応方法に触れるなどしたらどうか。
→内容を検討し、事業に反映させてまいります。

地域経済活性化

<評価案>

【目標・実績】地域経済の活性化に資する中心商業地のイベント等の実施

項目	28実績	29計画	29成果	達成率
開催回数（回）	15	17	9	52.9%
来場者数（人）	651,600	600,000	672,000	112%

事務局評価案：イベントの来場者数は100%超となったが、開催件数が計画未達、また、未実施の項目もあったため、総合的にB評価としたい。

<評価>

事務局案どおりBにて決定。

<ご意見等および平成30年度取り組み方針>

- ・「地域産業力の向上」の項目が未実施とのことだが、商工会議所単独で実施するものではなく、行政と連携の上推進するものであるため、これをもって評価をBとするのはどうかと思う。評価項目から外してもよいのではないか。
- 発達計画に記載されている以上、評価しなければならない項目となっており、商工会議所としてテーマについてアクションを起こさなければならぬところ、それができなかったことがあり、評価案をBにとどめさせていただきました。

他の支援機関との連携による支援ノウハウの情報共有

<評価案>

- (1) 相模原市内の支援機関と情報交換を実施した（年12回）
- (2) 支援機関合同会議による連携を図った（年2回）
- (3) 小規模企業支援会議を開催した（年12回）

事務局評価案：計画通り市内支援機関との情報交換の機会を設けたので、A評価としたい。

<評価>

事務局案どおりAにて決定。

<ご意見等および平成30年度取り組み方針>

- ・ご意見は特にありませんでしたが、継続して情報交換の機会を設けてまいります。

経営指導員等の資質向上等

<評価案>

- (1) 経営指導員等による勉強会の実施（一部未実施）
- (2) 専門家と経営指導員等との勉強会の開催（計画通り実施）
- (3) 支援機関との会議結果のフィードバック、外部の研修への参加（計画通り実施）

事務局評価案：実施事項、未実施事項があるが、おおむね8割以上は実施したと思われるので、B評価としたい。

<評価>

事務局案どおりBにて決定。

<ご意見等および平成30年度取り組み方針>

- ・ご意見は特にありませんでしたが、外部の研修会に積極的に参加する等継続して資質向上に努めてまいります。

以上